

川沿いの赤黒い虫

明日もおもしろい話を聞かせてやるぞ・・・・・・・・。

そう言って公園でアゴヒゲの老人は紙芝居を閉じた。

夕方。

公園で秋の空気を楽しむ街の人たちには夜の向こうが見えている。

空き地の横の自販機で買った缶ジュースを持った二人の少年は

次の日の紙芝居を楽しみにしていた。

老人はその道14年。

それで生計を立ててきた路上パフォーマーである。

苦勞もあったようだ。

次の日の紙芝居は

少し物悲しいとのこと。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。